

移を見ながら検討してまいり  
 ます。  
 継続して実施しております  
 合併処理浄化槽設置整備事業  
 は、本年度は1戸分の予算を  
 計上いたしました。

**消防の充実と強化**

消防は、沿線5市町村が消  
 防行政を共同で実施する広域  
 連合を平成21年度にスタート  
 させて3年目となり、関係市  
 町村との緊密な連携と協力に  
 よって組織、施設、装備等の  
 充実を図り、消防力の強化に



消防隊員による訓練の様子

努めてきたところであります。  
 消防施設の充実であります  
 が、電波法改正に伴い、現在  
 使用しているアナログ方式の  
 無線機を平成28年6月までに  
 デジタル方式の無線機に全面  
 変更しなければならぬこと  
 から、通信指令業務の共同運  
 用など、効果的な消防体制の  
 充実に向けた検討を進めてま  
 いります。

装備の充実であります。昭  
 和63年に南富良野支署に配  
 備した水槽付消防ポンプ自動  
 車は、多様化するあらゆる災  
 害、火災、救急救助に迅速に  
 対応できる車両に更新し、消  
 防体制の対応力強化を図って  
 まいります。

消防法の改正により、平成  
 23年5月までに住宅用火災警  
 報器の設置が義務付けられて  
 おり、設置の推進及び普及の  
 ため、関係機関、消防団との  
 密接な連携を図りながら広報  
 啓発に努めてまいります。

救急業務の傾向は、高齢化  
 の進展や疾病構造の変化等、  
 複雑多様化の一途をたどって  
 おり、道北に配備されたドク  
 ターヘリを有効に活用すると  
 ともに、救急隊員の教育の充

**まちづくり応援寄附金**

本町のまちづくりに賛同す  
 る方々から受けた「南富良野  
 町まちづくり応援寄附金」の  
 活用については、寄附金の一  
 部を本年度予算に計上し、健  
 やかな福祉のまちづくり事業  
 では、各地区老人憩いの家及  
 び児童クラブ室のテレビ購入、  
 学び楽しむ文化のまちづくり  
 事業では、小中高連携教育実  
 施に伴う講師の派遣経費に充  
 ててまいります。

**富良野広域連合**

平成21年4月1日から「申  
 内草地」、「消防」、「環境衛  
 生」、「学校給食」の4つの  
 事務事業がスタートした富良  
 野広域連合であります。

今日の行政に対する課題は、  
 少子高齢化社会と情報通信技  
 術の進展や環境問題、教育問  
 題など市町村の枠を超えて、  
 広域的になってきており、多  
 様化、高度化する住民ニーズ  
 に対応する施策の展開や、地  
 方分権の受け入れ体制の整備

実は勿論のこと、救急車が到  
 着するまでに救命処置が講じ  
 られるよう、平成22年度に各  
 地区にAEDを設置しました  
 ので、住民に対しての救命講  
 習の普及啓発を計画的に推進  
 し、住民の安全、安心を確保  
 してまいります。

**防犯と交通安全の推進**

防犯と交通安全については、  
 富良野警察署など関係機関・  
 団体と連携を密にしまして、  
 交通事故や犯罪のない安心と  
 安全が確保されるよう、より  
 一層の推進に努めてまいりま  
 す。

**消費生活**

消費生活については、特に  
 高齢者など社会的弱者をター  
 ゲットにした悪質な訪問販売  
 や電話による通信販売の被害  
 が依然として後を絶たない状  
 況となっております。このよう  
 な消費者被害が社会問題となっ  
 ています。

消費者が安全で安心な消費  
 生活の環境が保たれるよう本  
 年度につきましても富良野沿

が求められているところであ  
 ります。

共同処理による効率化・合  
 理化により、財政負担の軽減  
 を図り、最小の経費で均一化  
 された行政サービスの提供を  
 目指し、広域で取り組むこと  
 で、より効率的となる事務事  
 業について、広域連合を核と  
 して調査研究を重ね、より充  
 実した組織づくりを目指す  
 とともに、実施する業務を充  
 実・発展させるため、構成市  
 町村と連携を図りながら、行  
 政の効率化を推進してまいり  
 ます。

以上、平成23年度の町政執  
 行に臨む基本的な考え方、重  
 点施策や第4次総合計画を推  
 進する主要事業について申し  
 上げました。

**平成23年度予算の概要**

予算編成にあたりましては、  
 方針として「雇用対策、少子  
 化対策、産業基盤の強化など  
 政策課題への的確な対応及び  
 行政改革の推進並びに基金に

線5市町村の広域的消費生活  
 相談窓口である「富良野市消  
 費生活センター」による相談  
 体制や社会福祉協議会との協  
 力体制により、訪問販売など  
 に対する消費者意識の啓発に  
 取り組み、消費者保護に努め  
 てまいります。

**行政情報化の推進**

行政情報化の推進につきま  
 しては、国が進める電子自治  
 体の取り組みとして、本町で  
 も総合行政ネットワークと住  
 民基本台帳ネットワーク、公  
 的個人認証サービス、総合行  
 政情報システムの管理運用に  
 努めてまいりますとともに、  
 本年4月から道からの権限移  
 譲により、パスポートの申請  
 交付事務が町の窓口で受けら  
 れ、町民皆さまの利便性が図  
 られることとなります。また、  
 本年度から戸籍の電算化に取  
 り組んでまいります。

**のびのびの南富良野**

共につくるまちづくり

次に、住民と行政が連携し、

依存しない財政運営に向けた  
 歳出削減」を掲げ、健全財政  
 の維持を図りつつ、まちづく  
 りの着実な進展を図るための  
 施策の推進と住民の生活福祉  
 の更なる向上の実現を図るべ  
 く、予算編成に努めたところ  
 であります。

本町の主要財源であります  
 町税及び地方交付税について  
 は、ともに前年度当初予算額  
 を上回る額を計上しておりま  
 す。町税については、主にポ  
 テトチップス製造工場の建設  
 に伴う固定資産税の増額によ  
 るものであり、地方交付税につ  
 いては、国の地方に対する財  
 源充実を図るための予算増に  
 伴う配分額の上積みを見込み  
 計上したところであります。一  
 方でこれらの増額に対し、町の  
 一般財源を補う臨時財政対策  
 債については、減額が見込まれ、  
 地方交付税と臨時財政対策債  
 を合せた実質となる国からの  
 交付金総額は、昨年度より減  
 額となることが見込まれると  
 ころであります。また、国勢調  
 査結果の人口減少による地方  
 交付税への影響及びその他算  
 定方式の改正などの地方交付  
 税の減額要素も考慮して、予

魅力ある個性的で効率的な行  
 政運営をめざす、のびのび  
 の南富良野、共につくるまち  
 づくりであります。

**住民参画と協働**

住民と行政の連携について  
 は、地域の声を広くまちづく  
 りに反映させるため、移動町  
 長室の各自治会との協働開催、  
 広報広聴活動を展開する中で、  
 まちづくりへの提案や地域の  
 課題を語り合う機会を設ける  
 など、町民皆さまの声を行政  
 に生かし、住民参画と協働を  
 推進してまいります。



自治会推進町内会説明会の様子

**情報化社会への対応**

町民皆さまから大変要望の  
 多かったブロードバンド未提

算計上いたしました。

歳出予算については、先に  
 申し上げた重点施策を含む事  
 務事業の執行予算について、  
 費用対効果を検証しつつ、ム  
 ダのない予算の計上に留意し、  
 特に住民の生活福祉サービ  
 スに直結する予算については、  
 しつかりと確保するよう配慮  
 したところであります。

その結果、予算規模は、

一般会計	33億6,042万8千円
国民健康保険事業特別会計	3億9,969万8千円
後期高齢者医療特別会計	3,414万2千円
介護保険特別会計	2億6,707万3千円
簡易水道事業特別会計	1億5,937万2千円
公共下水道事業特別会計	1億2,882万7千円
総額	43億4,954万円

となり、前年度当初予算と比  
 較しますと総額で3.7%の  
 減となった次第であります。  
 議員各位をはじめ町民さま  
 までご理解とご協力を心から  
 お願い申し上げます。町政執行方  
 針といたします。

開基120年となる本年度  
 の発行を目指し、平成19年度  
 から取り組んでまいりました  
 「町史編さん」については、  
 現在町史編さん委員会を立ち  
 上げて、委員の皆さまのご苦  
 労をいただきながら編集作業  
 を行なっているところであり  
 ますが、本年3月末で作業が  
 終了しますので、町史発行の  
 ための所要の予算を計上いた

**開基120年**